

令和元年度 奈良県租税教育推進連絡協議会会長賞

「税を知る」

奈良県立青翔中学校 三年 丸橋 稲穂

私は、小学校・中学校で、税金の大切さについて、様々な事を聞いてきました。教育や福祉などがその例です。しかし、税というものを、普段は意識しているわけではなく、何がそんなにも役に立っているのか理解できませんでした。そんな時に、税について深く考えるきっかけとなった出来事があります。

去年私は、研修でフィリピンへ行き、一週間フィリピンで暮らしました。そこで、講師から、フィリピンの教育についての話を聞く機会がありました。その時に聞いた話では、フィリピンでは、学校に通うためにとても高いお金が必要で、貧しい家の子どもは小学校にさえいけないということでした。そうすると、お金持ちの子ども達だけが十分な勉強をし、そして裕福な家庭で育った人達だけが政治家になることができ、貧しい家庭のための政治が行われず、子ども達は学校にいけないという悪循環になってしまいます。そして、裕福な家庭だけが得をしてしまうのです。貧しい家庭の人々のために、日本人が創った団体が、教育の援助をするという取組が行われていることも聞きました。しかし、それで援助を受けられる家庭はほんの少ししかありません。それでは、政治を変えるために、とても長い時間がかかります。この話を聞いた時、私は、すべての子どもが平等に教育を受けられる日本は、すばらしい国だと思いました。それが税金のおかげであることは授業で何度も聞いていましたが、そのありがたさを実感したのはその時が初めてでした。さらにフィリピンでは、ほとんどの貧しい家庭が家を持っておらず、中には危険な場所にすんでいる家族もいます。そして、毎日の食事を手に入れるために、子ども達まで働きに行かなければならないのです。それと比較すると日本は、税金によって衣食住を確保することができ、とても恵まれているように感じます。税金には様々な重要な役割があり、私たちが税を納めることによって成り立っているということが、よく分かりました。

私は、フィリピンでの体験によって税金の大切さ、重要さについて知り、深く考えるきっかけとなる機会を得ることができましたが、現在の日本人の中には、以前の私のように、まだ税金について疑問を抱いている人がいるのではないのでしょうか。私は、税金についてもっと多くの人に知ってもらふ必要があると思います。そうすれば、日本の人々がもっと気持ちよく、安心してすごせるようになるのではないのでしょうか。